

今号の主な記事	
2面	国勢調査にご協力をほか
3面	心の輪ほか
4・5面	特集「子どもの居場所」
6面	情報ボックスほか
7面	チャレンジめぐろほか
8面	リレー応援メッセージ、乳幼児クラブの募集

No.2076

令和2年
(2020年) 8/25
毎月5・15・25日発行



充実した毎日を過ごすために
仕事と生活のバランスをとりましょう

仕事

生活

ワーク・ライフ・バランス

めぐろ区報

もしも
今!

大地震が
発生したら

避難所に行く?

自宅にとどまる?

地震が起きたときは、まず身の安全を確保し、揺れが収まってから避難行動をとりましょう。避難方法は、地域避難所への避難、在宅避難、親戚や友人宅への避難などの選択肢があります。人が多く集まる地域避難所での感染リスクなども考えたうえで、発災時にどのような行動をとればいいのか、日頃から考えておくことが大切です。

図防災課 (☎5723-8700、FAX5723-8725)

出典：内閣府中央防災会議「250mメッシュ別の全壊・焼失棟数(都心南部直下地震)」

危険が差し迫っていたら 迷わず地域避難所へ

自宅の損傷や火災など、危険が迫っているときは、近くの避難所に避難しましょう。災害時の地域避難所として、小・中学校など区内38カ所を指定しています。

分散避難の検討

安全な場所に住む親戚や友人など頼れる人がいる場合は、危険が去った後の避難先として検討しましょう。

避難所の感染症対策

マスク着用や手洗い、咳エチケットなど、一人ひとりができることを行うことで、感染リスクを下げることができます。区は「避難所における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を新たに作成するとともに、地域避難所にマスク、非接触型体温計、間仕切り用透明シート、フェイスガード、屋内型テントなどを順次配備し、感染症対策を進めています。

もしもに
備える

知る

防災マップで、避難所の位置や事前の備えなどを確認しておきましょう。総合庁舎本館1階区政情報コーナー、防災センターなどで配布するほか、ホームページ(右コード)でご覧になれます。

準備する

飲料水・食料や常用薬のほか、マスク・消毒液・体温計など感染症対策に必要な衛生用品を、避難用の持ち出し品として、リュックにまとめておきましょう。

自宅が安全なら 在宅避難のススメ

自宅の安全が確保され居住できる場合は、在宅避難をすることで、感染リスクを避けることができます。在宅で避難するためには、備蓄など日頃からの準備のほか、住宅の耐震化も大切です。詳細は、防災行動マニュアル(総合庁舎本館1階区政情報コーナー、防災センターなどで配布。ホームページで閲覧可<右コード①>)に掲載しています。

①

もしもに
備える

備蓄する

家族構成に合わせて、3日分用意(できれば5日分)。チェックリストを防災行動マニュアル(右上コード①)に掲載しています。

☐ 飲料水 ☐ 食料 ☐ 常用薬 ☐ 生活用品 ☐ 衛生用品 ほか

固定する

過去の大震災では、家具の転倒や落下による被害が多発しました。転倒防止器具の活用や配置の工夫などで、自宅内で安全な環境をつくりましょう。

<防災用品のあっせんをしています>

詳細は、防災用品あっせんのご案内(総合庁舎本館1階区政情報コーナー、防災センター、地区サービス事務所<東部地区を除く>などで配布)、またはホームページ(右コード②)をご覧ください。

②

強くする

耐震化への助成(右コード③)を行っています。また、下記のとおり無料相談会などを実施します。希望者は当日会場へ。

③

耐震フェア・木造住宅の耐震無料相談会

日程 9/15(火)~17(木)
会場 総合庁舎本館1階E会議室
<耐震フェア> 9:00~17:00
木造住宅の耐震改修工法・装置を展示します。
<耐震診断士による耐震無料相談会> 10:00~16:00
図面などがあれば、より具体的な相談ができます。
図建築課耐震化促進係 (☎5722-9490、FAX5722-9597)

建築士による建築無料相談(共催 目黒区)

日時 9/12(土)10:00~15:00
会場 総合庁舎本館1階休憩コーナー
図一般社団法人東京都建築士事務所協会目黒支部
(株式会社三京建設内、☎3723-5845、FAX3718-6101)